

Yahaba Town Profile Book

矢巾町 町勢要覧



煙山ひまわりパーク



2026



ごあいさつ

「2026年版矢巾町町勢要覧」の発行にあたり、日頃より町政に対する町民の皆さまのご理解とご協力に心より御礼申し上げます。

本町は昨年、3村合併70周年という節目を迎え、先人の歩みに感謝するとともに、新たなまちづくりの方向性を共有することができました。

本年は、医療・福祉・介護の連携強化をはじめ、地域コミュニティの充実、関係人口・交流人口の拡大、空き家対策や防災・安全対策など、持続可能なまちづくりをさらに推進してまいります。

さて、この町勢要覧は、町勢の現状と変遷を正確にご理解いただくため、様々な分野における活動を分かりやすく取りまとめた1冊です。皆さまにとって矢巾町の取り組みをご理解いただく一助になれば幸いです。

矢巾町長 高橋 昌造

目次

町長あいさつ、プロフィール、歴史……………	2-3
矢巾の四季 ……………	4-7
矢巾町の産業・特産品……………	8-9
第8次矢巾町総合計画……………	10
未来への取り組み……………	11-13
施設マップ ……………	14-15
矢巾町のあゆみ……………	16-18
行政・議会……………	19-20
町民憲章、町章、シンボル、町民歌、情報発信 ……	21-22



わたまろくん



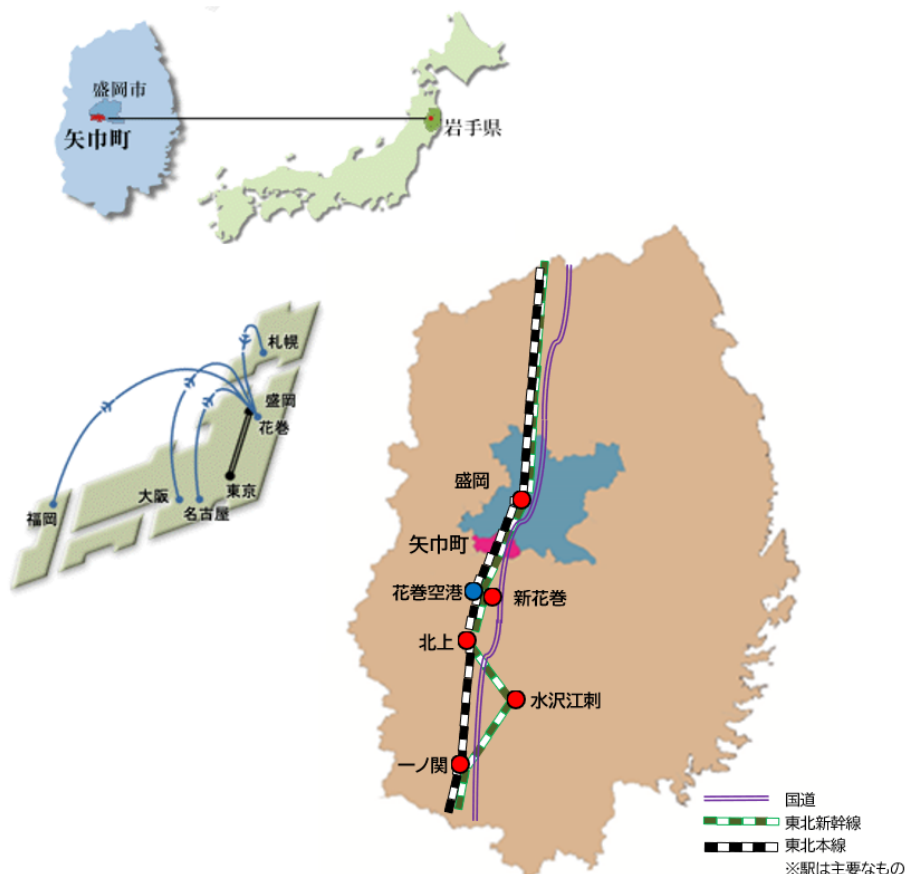
じゃじゃっとくん

ようこそ矢巾町へ

矢巾町のプロフィール

面積: 67.32 km²
総人口: 27,004 人
世帯数: 11,093 世帯
(令和7年10月1日現在)

岩手県矢巾町は、県内のほぼ中央に位置し、県庁所在地である盛岡市の南に隣接する田園都市です。東に母なる北上川が流れ、西に町のシンボルである南昌山をはじめとする奥羽山脈の山並みが連なり、田園地帯が広がる自然豊かな環境に加え、東北本線や東北新幹線そして東北自動車道や国道4号など交通においても恵まれた町です。



交通アクセス

高速道路	
盛岡IC-矢巾SIC	7分
仙台宮城IC-矢巾SIC	1時間55分
浦和IC-矢巾SIC	5時間25分
矢巾SIC-矢巾町役場	6分
飛行機	
札幌(新千歳)-花巻	55分
名古屋(小牧)-花巻	1時間10分
大阪(伊丹)-花巻	1時間20分
神戸-花巻	1時間30分
福岡-花巻	1時間55分
花巻-矢巾町役場	40分(車)
東北新幹線・東北本線	
東京駅-盛岡駅	2時間10分
仙台駅-盛岡駅	40分
盛岡駅-矢幅駅	12分
矢幅駅-矢巾町役場	5分(車)

矢巾町の歴史

矢巾町の歴史は縄文時代にさかのぼり、町内からは土器や石器が出土しており、早くから人々の生活の場であったことがわかる。奈良時代から町域内に在地の蝦夷の集落が形成されてくるが、平安時代初めには、蝦夷支配と北方経営の拠点として現在の西徳田付近に古代城柵の徳母城が築かれた。徳母城は胆沢城とともに、陸奥国北部の統治を行うための軍事・行政拠点として古代律令国家による征夷政策を示す史跡として著名である。その後、町域では中世には奥州藤原氏の一族である樋爪氏、その後足利氏一門の斯波氏などが支配し、近世には南部氏の盛岡藩領として農業を中心に発展した。また街道の整備により周辺地域との往来も盛んになり、地域社会が安定していった。明治時代には町村制の施行により村が整備され、昭和30年に徳田村・煙山村・不動村の3村が合併して矢巾村が誕生し、昭和41年には町制施行により矢巾町となり、現在へとつながる基盤が築かれた。

※背景は徳母城復元イメージ図

矢巾の四季〈春〉



南昌みらい高校音楽部による合唱

徳丹城春まつり(4月)

徳丹城跡公園の桜並木を眺めながらステージイベントや飲食ブースを楽しめます。

ステージイベントでは合唱や餅まきで盛り上がり、ステージ外では出店やフリーマーケット、クラフト市のブースで賑わいます。

伝統芸能の披露も行われ、歴史や文化の発信の場となっています。



餅まき



園児による伝統芸能の披露



南昌山山開き(6月)

矢巾町のシンボル南昌山では、一年間の安全を祈願し、山開きが開催されます。登山道は整備され、新緑を感じながら気持ちよく登ることができます。

標高848mの山頂には町内を一望できる展望台も。

矢巾の四季〈夏〉



ひまわり

矢巾の名物となったひまわりは、毎年お盆の時期に花を咲かせます。

煙山ひまわりパークでは、南昌山をバックに約20万本のひまわりが咲き誇り、壮大な景色が広がります。

2025年からライトアップも実施され、幻想的な空間を楽しめます。



矢巾町の花「ゆり」

以前は町内のいたるところに自生していたゆりですが、現在は数が減少しているため保全活動を行っています。7月中旬に森山パストラルパークや城内山で大輪の花を咲かせています。



矢巾町夏まつり(7月下旬)

町内の小中高校、社会人などの音楽団体が出演するステージイベントや、飛び入り参加可能な「さんさ輪踊り大会」が見どころです。夕暮れ後はスカイランタン打ち上げも。



矢巾の四季<秋>



南昌トンネル付近の紅葉

色づく景色が秋の深まりを感じさせる頃、町内ではスポーツや文化を親しむ催しが行われます。



稲刈り風景



ロードレース大会(10月)



芸術祭(10~11月)



矢巾町秋まつり(10月)

矢巾町役場駐車場などを会場に、多くの人が秋を楽しみます。ステージでは町内団体による歌やダンスの披露、飲食ブースでは農産物の販売も人気です。

また、1歳前後の赤ちゃんの健やかな成長を願って一升餅歩行大会も開催され、会場は優しい笑顔に包まれます。



矢巾の四季〈冬〉



スミつけ祭り(2月第1土曜日)

四百数十年前から受け継がれている奇祭。杉枝の大山の中に観音様を掘り込んだ木柱を入れて燃やし、消し炭をお互いの手や顔へとこすりあう。別名 歳祷焚き(せあどたき)と呼ばれ、スミをつけられた人は災難消除や無病息災が叶うと言われています。

同時開催の冬イベントでは、冬を楽しめる様々な催しも。



矢巾町消防団出初め式(1月)

消防団員及び盛岡南消防署矢巾分署所属の消防隊員約200人が参加し、行進の披露や1年間の決意表明を行います。

矢巾町交通指導隊初点検(1月)



産業

りんご

りんごの生産地として、主にフジやジョナゴールドなどが栽培されています。矢巾の太陽の光をたくさん浴びて育ったジューシーで甘いりんごです。ふるさと納税の返礼品としても人気です。



お米

町内では、銀河のしずくやひとめぼれ、ヒメノモチなどが栽培されています。古くから良質米の産地として名を馳せてきた当町のお米をお召し上がりください。



ズッキーニ

夏が旬のズッキーニは、さまざまな料理の食材として重宝されています。抗酸化作用のあるカロテンやビタミンC、高血圧予防にも効果があると期待されるカリウムも豊富です。



しいたけ

矢巾町のしいたけは、原木・菌床ともに生産が盛んです。肉厚でうまみがたっぷりのしいたけは食べ応え抜群。矢巾町国民保養センターでは、しいたけを使用したソフトクリームが味わえます。



山ぶどう

ポリフェノール等が含まれる山ぶどうは疲労回復、貧血予防などに効果があると言われています。



特産品

NEW /

地酒



純米大吟醸 南昌山

町産酒米「ぎんおとめ」を使用した純米吟醸酒です。口当たりが柔らかく、甘さが特徴です。ラベルは松本零士氏がデザイン。



純米吟醸 徳丹城

こちらも町産酒米「ぎんおとめ」を使用した純米吟醸酒です。料理を引き立てる上品ですっきりとした味わいに仕上がっています。

🌻 やはば sun・smile gift 🌻

町内複数の事業所が協力して作り上げたギフトセットが令和8年6月26日から発売開始！商品は矢巾町のひまわり畑をモチーフとした3種の焼き菓子とドリップコーヒーがセットとなっており、パッケージのデザインには地域おこし協力隊も携わっています。



やはばおでん

やはばおでんは、保存料不使用で、かつおと昆布の風味が効いた優しい味わいです。イチ押しのは材は油揚げに豚・鶏ひき肉・生姜を詰め入れ、矢巾町特産の原木椎茸を丸ごと使用した『やはばくだん』。



山ぶどう加工品

南昌山の麓で丹精込めて育てた野生種の山ぶどうを丸ごと使用。原液は濃厚で甘酸っぱい味わい。薄めて砂糖やはちみつ、牛乳を加えても美味しいです。ジャムとジュースの商品を製造販売しています。



町の風景を感じられる
ギフトセットです！
おみやげにどうぞ！



ご紹介した特産品は町内店舗のほか、オンラインストア「やはばマルシェ」でも購入いただけます。

第8次矢巾町総合計画(令和6年～令和13年度)

行政運営の最も基本となる計画。すべての行政分野が含まれる計画で、日々の業務はもちろん、長い視点でより良いまちを計画的につくる方針が記されている「未来へ向けたまちづくりの計画」です。

I. 基本理念

『みんなで築く 躍動感あふれ幸せな未来へ進化するまち やはば』

II. 町の目指す将来像

① 新たな活力と変革を実感できるまち

本町での未来に希望を抱く人々が集い、常に新しい風が生まれ続けることで、隅々まで活気にあふれるまちを目指します。

② 「ありがとう」が行き交う幸せなまち

一人ひとりの町民が幸せを実感するとともに、地域の中で人々のやさしさや感謝の気持ちが循環し、本町に暮らす喜びを全ての世代が感じられるまちを目指します。

③ 豊かな環境を未来へつなぐまち

先人が力を合わせて築き上げ、現在まで受け継がれてきた本町の豊かな自然環境や、文化的環境の価値を大切に守り育て、将来世代に胸を張って継承することができるまちを目指します。

III. 施策の柱

① 元気を発信し活力を呼び込むまちづくり

本町の魅力や情報を積極的に発信し、新たな町民や熱意ある事業者を広く受け入れその活躍を促進することによって、町内全域の活性化や、活気が新たな活力を呼ぶ機運の醸成を目指します。

② 誰一人取り残さない社会を目指すまちづくり

一人ひとりの幸福度の向上を図るとともに、身近な地域で町民同士が互いにつながり支え合いながら、全ての世代が生き生きと安心して暮らせる社会の実現を目指します。

③ 豊かな環境を守り伝えるまちづくり

南昌山をはじめとする西部の山々や町内に広がる田園風景などの豊かな自然環境と、地域の伝統行事、郷土芸能などが育まれてきた文化的環境を次世代を担う子どもたちや将来の世代に伝えるため、その保全と価値の向上を目指します。

④ まちの発展を支える持続可能な行財政運営

各施策を推進し町勢の着実な発展を図るため、将来にわたり安定した行財政運営を可能とする仕組みの確立を目指します。

未来への取り組み①

～新たな活力と変革を実感できるまち～

未来への希望を抱く人々が集まり、新しい挑戦や変化が次々と生まれることで、にぎわいと活気のある町を目指します。

充実の医療体制

岩手医科大学附属病院は高度先進医療を提供し、県内の医療の中核を担っていますが、岩手医科大学附属内丸メディカルセンターの附属病院への機能移転・統合に伴い、外来医療、入院医療を一体的に提供できるようになり、交流人口がさらに拡大しています。

また、専門医療を提供する病院やかかりつけ医としてのクリニックというそれぞれの機能を有する医療機関が充実し、本町の医療体制を支えています。

居住環境の整備

岩手医科大学に近接する商業施設の充実、下花立地区・田中地区・藤沢地区など、複数の地区で宅地開発が行われ、良好な生活環境と利便性を兼ね備えた街の形成が進んでいます。全国的に人口減少が進む中、誰もが安心して暮らし続けられる環境づくりを進めることで、人口の維持拡大へ取り組んでいきます。

便利な交通環境

JR・東北自動車道(矢巾SIC)・一般国道4号などが通る矢巾町は交通アクセスも良好な利便性の良い住環境となっています。

町内を移動するときは矢巾町市街地循環バス「やはばす」や矢巾町予約型乗合バス「のりあい号」も利用できます。

さらに、盛岡西バイパス付近から矢巾町を結ぶ「一般国道4号盛岡南道路」の整備に向けた取り組みも始まっており、この事業により、渋滞解消、円滑な物流ルート確保及び岩手医科大学附属病院へのアクセス向上が期待されます。



魅力を発信！！「矢巾町応援アンバサダー」

町の魅力を広く発信するため、4名を矢巾町応援アンバサダーとして任命しています。



ZENDAMAN
(レゲエアーティスト)

工藤有紗
(俳優)



水本圭治
(カヌー選手)



大江裕
(演歌歌手・タレント)

未来への取り組み②

～「ありがとう」が行き交う幸せなまち～

誰一人取り残さない社会を目指すまちづくりを目指し、地域住民による話し合いやワークショップなどを実施。
また、町民全員が活躍できるための取り組みをご紹介します。

地域みらいづくり会議

地域住民が集まり、地域の未来について情報交換や意見交換を行うことで、地域の未来をみんなで作る話し合いの場です。広域的な地域課題などを今後どのように改善し、目指す地域像に向かうために広域連携と地域コミュニティ組織単独で、どのように取り組むかをまとめた「地域みらいづくり計画」を策定しました。

今後、この計画に基づいた取り組みを進めるために、さらに話し合いを重ね、広域連携の仕組みを深めていきます。



地域ごとに取りまとめた
「地域みらいづくり計画」

終了後、地域住民への
発表の場を設けました。



やはぱーく

令和8年4月で開館10周年を迎えた矢巾町活動交流センター「やはぱーく」。矢幅駅前に位置し、地域活動の拠点として多くの地域住民の交流の場となっています。やはぱーく主催のイベントやワークショップにも力を入れています。

各フロアを紹介

- 1階:さまざまな人が行き交う活動の場
- 2階:図書センターや学習スペースなどの学びの場
- 3階:ちびっこに人気の遊びの広場やキッチンスタジオ



インクルーシブなまちを目指して

子ども・子育てにやさしいまち

令和8年3月に策定した「矢巾町こども計画」に基づき、すべての子どもや若者が将来にわたって幸福な生活を送ることのできる社会の実現を目指します。

産後ケアなど、妊娠期からの子育て支援を強化し、子どもが健やかに育つことのできる地域づくりを行っています。



認知症の人にやさしいまち

令和4年度に「認知症の人にやさしいまちづくり やはぱ」を宣言、令和5年度に「矢巾町認知症とともに生きるまちづくり条例」を制定。認知症の人でもそうでない人も、よりよく生きていくことができるよう、お互いを理解し、一人ひとりが自分らしく暮らしていけるまちを目指します。矢巾町地域包括支援センターが開催している「おれんじデー」や「おれんじカフェ」は、認知症の方やそのご家族の交流の場となっています。

未来への取り組み③

～豊かな環境を未来へつなぐまち～

先人から受け継がれてきた本町の豊かな地域資源を、次の世代へ引き継ぐための取り組みが行われています。



サステナブルアワード

町内企業における環境への配慮、働きやすい職場形成などのサステナブル経営を推進し、持続可能な地域経済の活性化を目指すとともに、これらの取り組みを可視化することで町内企業の非財務的な価値の向上を図ることを目的として「矢巾町サステナブルアワード」を2024年、2025年と2回実施。

サステナブルな取り組みを「TERRAST for Enterprise」というツールによってスコアリングを行い、ESGの観点から環境、社会、ガバナンスに関する各種指標を用いて評価。

評価結果の上位企業には表彰を行うとともに、町の広報媒体で取り組みについて発信し、サステナブル経営の輪を広げています。



バイオマス発電

南昌山の麓に、木質チップを燃料とした「古里 FIC エネルギー 合同会社バイオマス発電所」が2026年5月27日に営業運転をスタート。発電所では、今まで山に放置されてきた林地残材など、県内産の木材をチップ化し燃料として使用しています。発電所の運営のため地元雇用を創出。また、支障木、松くい虫被害木の活用を進めるとともに、果樹剪定枝の活用を検討しています。

地域の森林資源を活用して再生可能エネルギーを生み出す施設として、安定的な電力供給と林業など地域振興の両立に貢献しています。

農業振興への取り組み

数多くの認定農業者が魅力ある農作物を育てており、各地域では集落営農組織等が豊かな自然環境を守るべく農作業を行っています。また、農業分野で地域おこし協力隊が活躍しているほか、新規就農者への支援も積極的に行っており、各種助成制度も準備されています。

有害鳥獣対策については、矢巾総合射撃場が立地しており免許取得への助成制度もあるなど捕獲の担い手の育成に積極的に取り組んでいます。また、山沿いに電気柵を設置するなど地域ぐるみでの活動も行われています。



地域おこし協力隊の北村さん

施設マップ



ぬさかけ
幣懸の滝



町営キャンプ場



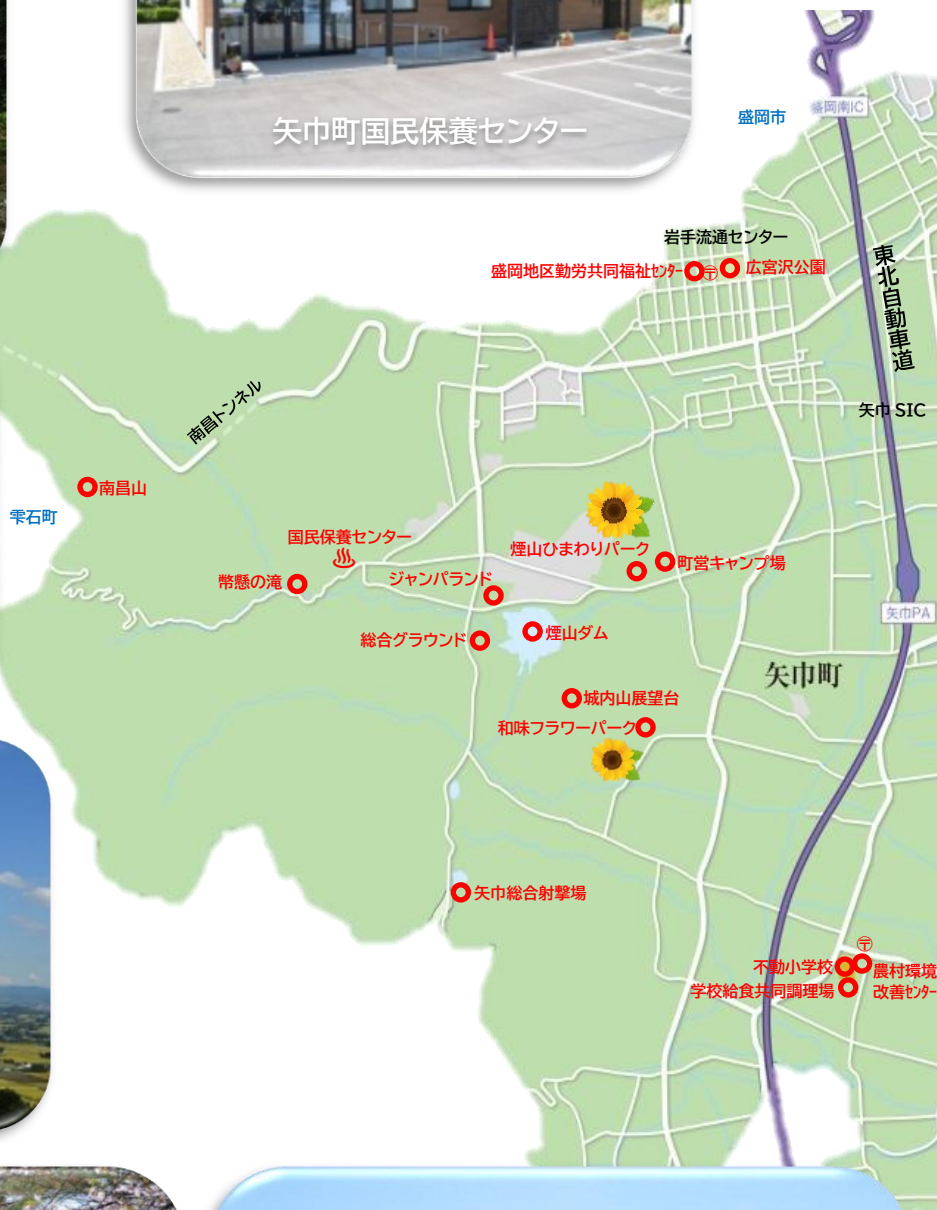
城内山展望台からの見晴らし



森山パストラルパーク展望台



矢巾町国民保養センター



やはぱーく
(矢巾町活動交流センター)



矢巾町役場



さわやかハウス
(矢巾町保健福祉交流センター)



矢巾町民総合体育館



田園ホール
(矢巾町文化会館)



徳丹城跡公園



矢巾町歴史民俗資料館

紫波町

矢巾町のあゆみ

●明治22年	徳田村、煙山村、不動村誕生	●昭和49年	東北新幹線工事着工
●明治23年	東北本線「盛岡～一関」間開通	6月4日	
●明治31年	矢幅駅開設	●昭和50年	岩手流通センター開業
●明治38年	東北地方大凶作	3月1日	
●明治43年	大洪水で北上川はんらん	●昭和51年	クレー射撃場落成
●昭和2年	大干害(不動村の水稲50%減収)	5月6日	
●昭和22年	カスリーン台風襲来(北上川堤防が決壊し大洪水)	5月13日	紫波郡環境施設組合不燃処理施設落成
●昭和23年	アイオン台風襲来(大洪水)	10月25日	矢巾町民憲章を制定
●昭和29年	三ヶ村合併促進協議会結成		町のシンボル花「ゆり」鳥「かつこう」木「まつ」に
●昭和30年		●昭和52年	矢幅駅改築落成
3月1日	徳田・煙山・不動の三ヶ村の合体合併により「矢巾村」が誕生	3月15日	
	合併当初の人口:13,832人、世帯数:2,267世帯	11月19日	高速道「一関～盛岡」間開通
9月17日	役場庁舎落成	●昭和53年	南昌グリーンハイツ落成
●昭和31年		4月25日	
10月1日	徳田保育園開設	11月5日	町民総合体育館落成
●昭和32年		●昭和54年	紫波郡環境施設組合高速堆肥化処理施設落成
2月21日	矢巾村消防団日本消防協会表彰受賞	3月29日	
5月4日	全村に農事放送施設、有線放送完成	●昭和55年	矢巾町消防団日本消防協会特別表彰受賞
9月15日	村章、村民歌、矢巾音頭決定	2月12日	
11月27日	矢巾村消防団自治庁長官表彰受賞	●昭和56年	岩手県交通矢巾営業所業務開始
●昭和36年		5月31日	
4月10日	不動保育園開設	10月19日	岩手県森林組合盛岡木材流通センター完成
●昭和37年		●昭和57年	農業集落排水(室岡)供用開始
4月10日	煙山保育園開設	4月1日	
8月22日	矢巾村商工会発足	6月23日	東北新幹線開業
11月23日	火葬場落成式	●昭和58年	紫波地方広域農道開通式
11月28日	徳田橋完成	9月13日	
●昭和39年		9月22日	町歴史民俗資料館落成式
9月24日	東京オリンピック聖火、本村を通過	●昭和60年	新庁舎開庁式及び一般公開
●昭和40年		3月24日	
10月1日	東北本線「仙台～盛岡」間の複数電化完成	4月1日	北上川上流流域下水道(都南処理区)一部供用開始
●昭和41年		●昭和61年	矢巾斎苑完成
4月1日	矢巾村営上水道給水開始(国道沿線と矢幅駅周辺)	5月30日	
5月1日	町制が施行され「矢巾町」となる	●昭和62年	煙山児童館完成
7月16日	町公民館落成	2月10日	
10月14日	矢巾町観光協会設立	8月2日	矢巾町農村環境改善センター完成
●昭和43年		●昭和63年	町屋内ゲートボール場完成
4月1日	町立母子健康センター完成	1月15日	
9月26日	矢巾観光開発(株)が矢巾温泉開発に成功	3月23日	徳田児童館完成
9月	煙山ダム完成	4月1日	新町公民館開館
●昭和44年		4月10日	県立不来方高等学校開校
5月19日	郡内2町1村環境施設組合設立ごみ処理場火入れ式	5月2日	徳田、煙山、不動の三農協が合併により矢巾町農業協同組合発足
8月5日	徳丹城跡 国指定史跡となる	8月5日	矢巾中学校グラウンドに夜間照明施設完成
10月25日	国民保養センター完成	12月3日	ふるさと矢巾会設立(関東方面在住者の会)
●昭和45年		●平成2年	町公民館落成・町文化会館(田園ホール)落成
9月7日	煙山ダムで国体夏期大会カヌー競技開催	11月3日	
●昭和46年		●平成3年	町デイサービスセンター完成
1月	矢巾町総合開発計画策定	1月14日	
3月15日	矢巾町都南村都市計画事業等組合設立	7月17日	矢巾地区農業構造改善センター完成
5月24日	岩手流通センター起工式	11月7日	北上川架橋長徳橋完成
8月1日	広域消防体制スタート	●平成4年	不動児童館完成
11月20日	町商工会館落成	3月31日	
●昭和48年		10月27日	奥羽南部区域農業用道路(南昌トンネル)開通
4月11日	盛岡消防署矢巾分署落成	12月25日	矢幅駅東地区土地区画整理事業起工式

●平成5年		7月14日	不動浄化センター通水式
3月	下田工業団地完成	11月11日	盛岡市・玉山村との合併法定協議会への不参加を決定
4月 1日	岩手県林業技術センター落成	●平成17年	
5月18日	盛岡・紫波地区環境施設組合リサイクルコンポストセンター完成	4月 1日	北川保育園を民間法人に譲渡
		4月 1日	歴史民俗資料館ホームページ開設
12月24日	町シルバー人材センター設立	6月	町内小中学校ホームページ開設
●平成6年		11月 9日	矢巾町合併50周年記念式典
6月 9日	温泉入浴施設「パストラルバーデン」オープン	●平成18年	
9月13日	木村武氏へ名誉町民の称号を授与	2月 2日	矢幅駅西地区土地区画整理事業起工式
●平成7年		4月 1日	不動保育園を民間法人に譲渡
6月30日	町保健福祉交流センター(さわやかハウス)落成	4月 1日	矢巾町地域包括支援センター開設
7月22日	アメリカ・フリモント町と友好都市締結	4月30日	岩手やはば21赤べこ野球軍団誕生
8月15日	非核平和の町宣言を制定	7月	徳丹城跡から史上初の「木製かぶと」出土
11月17日	矢巾町福祉のまち宣言を制定	11月 1日	水本圭治選手に町民栄誉賞第1号を贈呈、全国高校総合体育大会及び国民体育大会カヌー競技で5冠達成
●平成8年		●平成19年	
4月 1日	町立矢巾北中学校開校	4月 1日	徳田保育園を民間法人に譲渡
●平成9年		4月 1日	学校法人岩手医科大学矢巾キャンパス完成、薬学部開設
1月26日	新矢巾町商工会館落成	8月27日	岩手やはば21赤べこ野球軍団第78回都市対抗野球全国大会出場
4月 1日	盛岡・紫波地区環境施設組合一般廃棄物最終処分場供用開始	9月17日	平成19年秋雨前線による大雨被害 観測史上1位の降水量を記録
4月15日	県立産業技術短期大学校開校	10月 3日	水本圭治選手、国民体育大会カヌー競技で2冠達成
●平成10年		11月23日	矢巾の地酒 徳丹城「別将」誕生
8月26日	町防災コミュニティセンター落成	●平成20年	
●平成11年		3月15日	新矢幅駅、東西自由通路完成開業(矢幅駅開業110周年)
3月 1日	矢巾町、岩手紫波町、都南農協合併により岩手中央農業協同組合発足	3月19日	矢巾町消防団、528日無火災継続中で県表彰を受賞
3月25日	西部工業団地完成	11月 8日	矢巾中学校創立50周年記念式典開催
9月 1日	町ホームページ開設	12月31日	不来方高校サッカー部全国選手権大会初出場
9月22日	藤原哲夫氏へ名誉町民の称号を授与	●平成21年	
10月 7日	人口25,000人達成	3月21日	総合型地域スポーツクラブ「楽々クラブ矢巾」設立
11月15日	町道中央1号線完成	●平成22年	
●平成12年		3月16日	横澤高德選手バンクーバー冬季パラリンピック、アルペン男子大回転シッティング出場
5月30日	水道料金及び下水道使用料コンビニエンスストア収納事務委託調印	8月 9日	矢巾町コミュニティ条例制定30周年記念式典開催
6月 1日	町内循環バス「さわやか号」本格運行開始	12月26日	田園ホール開館20周年記念第九コンサート開催
8月 1日	県営土地改良整備事業東部徳田地区完工	●平成23年	
●平成13年		3月 8日	岩手医大総合移転整備計画第2次事業新設工事落成
7月25日	中国寧波市に親善大使として11人が訪問	3月11日	東日本大震災発生 矢巾町では震度6弱を観測
7月25日	重度心身障害児童施設「みちのく療育園」が開園	●平成24年	
9月21日	川村禎三氏へ名誉町民の称号を授与	1月13日	町立矢巾中学校新校舎利用開始
9月20日	携帯電話を活用した緊急防災メールシステム始動	3月	岩手医科大学総合移転事業にかかるドクターヘリ基地ヘリポート完成、5月から本格的運用開始
12月 7日	ISO14001認証取得	●平成25年	
●平成14年		3月30日	不来方高校男子ハンドボール部が全国高校ハンドボール選抜大会で優勝
4月 1日	児童保育園施設「やはば保育園」開園	8月 9日	大雨・洪水被害により矢幅駅周辺で床上・床下浸水など大きな被害
4月 3日	高齢者活動センター「やまゆりハウス」がオープン	●平成26年	
4月10日	老人保健施設「シェーンハイムやはば」がオープン	12月 1日	平成25年の大雨・洪水被害により休業していた国民保養センターが営業再開
7月20日	「ふるさと矢巾会」創立15周年記念総会が矢巾町で開催される	●平成27年	
8月 1日	住民基本台帳ネットワークシステムがスタート	1月5日	町立煙山保育園新園舎利用開始
9月 1日	図書室の蔵書検索システムが稼働	8月24日	矢巾中学校男子ハンドボール部全国大会準優勝
●平成15年		11月13日	矢巾町合併60周年記念式典開催
7月10日	特別養護老人ホーム志和荘が落成		
10月16日	広宮沢第二土地区画整理事業の用地造成工事起工式		
12月22日	矢巾町健康長寿のまち宣言を制定		
●平成16年			
3月23日	盛岡地域任意合併協議会が発足		
4月 8日	町立矢巾東小学校開校、矢巾東児童館開館		
4月12日	学校給食共同調理場開所		

●平成28年 2月21日 3月13日 4月1日 5月28日 10月2日 11月6日 ●平成29年 3月21日 ●平成30年 3月1日 3月14日 3月24日 6月1日 ●平成31年 1月19日 ●令和元年 8月5日 9月21日 10月13日 10月27日 12月15日 ●令和2年 2月7日 4月1日 4月15日 8月9日 8月22日 10月10日 10月18日 ●令和3年 1月8日 3月21日 3月25日 4月1日 5月11日 6月18日 7月9日 8月6日	パラリンピアン横澤高德選手「希望郷いわて国体」でエキシビジョン滑走 岩手医科大学附属病院起工式 矢巾町活動交流センター「やはばーく」開所 矢巾スマートインターチェンジ着工式 希望郷いわて国体デモンストレーション競技開催(ラジオ体操、スポーツチャンバラ) 矢巾町「音楽のまち」宣言 小原重雄氏に名誉町民の称号を授与 情報・防災ラジオ「やはラヂ！」放送開始 高橋幸平選手が平昌2018冬季パラリンピックアルペンスキー出場 矢巾スマートインターチェンジ開通 住民票などコンビニで取得可能に 「スポーツのまちやはば」宣言 徳丹城跡が国指定史跡認定50周年 岩手医科大学新附属病院開院 煙山小学校吹奏楽部、第19回東日本中学校吹奏楽大会で初出場金賞受賞 矢巾北中学校特設合唱部、第72回全日本合唱コンクール全国大会出場銅賞受賞 矢巾北中学校特設駅伝部、全国中学校体育大会第27回全国中学校駅伝大会出場 東京2020オリンピック・パラリンピックの「復興『ありがとう』ホストタウン」として本町の登録が決定。相手国はオーストリア共和国 コミュニティ・スクール(学校運営協議会)スタート 町健康増進施設「ウェルベース矢巾」がオープン 「矢巾町 安全・安心の日」制定 矢巾スマートインターチェンジ利用台数200万台達成 町介護予防・認知症施策推進拠点施設「えんじょいセンター」オープン 第1回矢巾町音楽祭開催 プロバスケットボールチーム岩手ビッグブルズの練習拠点「矢巾町岩手ビッグブルズアリーナ」オープン 矢巾北中学校特設合唱部、第14回声楽アンサンブルコンテスト全国大会出場中学校部門金賞受賞 村松玲子氏(不來方高校音楽部顧問)に町民栄誉賞を贈呈、多くの生徒とともに全国の舞台で優秀な成績を収め町の芸術文化振興に貢献 岩手朝日テレビのデータ放送を活用した自治体情報サービスの配信開始 認知症の方や家族の支援に取り組む「チームオレンジ矢巾」結成 東京2020オリンピック聖火リレー「矢巾区間」走行 資源物回収施設「リサイクルモア矢巾店」オープン 水本圭治選手、東京2020オリンピックカヌースプリント競技出場	9月19日 10月31日 11月21日 ●令和4年 3月13日 3月25日 10月9日 10月30日 11月5日 ●令和5年 2月1日 3月18日 3月25日 3月30日 4月1日 4月29日 5月7日 5月28日 7月22日 11月28日 12月1日 ●令和6年 2月5日 3月23日 4月1日 5月21日 5月22日 7月8日 ●令和7年 2月1日 3月1日 4月1日 4月26日 4月26日 12月7日 ●令和8年 3月31日 4月1日 第1回矢巾町俳句大会開催 矢巾北中学校特設合唱部、第74回全日本合唱コンクール全国大会出場金賞受賞 町文化会館(田園ホール)にて「NHKのど自慢」を開催 高橋幸平選手、北京2022冬季パラリンピックアルペンスキー競技出場 盛岡南道路の事業化決定 祝咲喜公園に町マレットゴルフ場 オープン 認知症の人にやさしいまちづくり やはば 宣言 矢巾北中学校特設合唱部、第75回全日本合唱コンクール全国大会出場 同声の部 銀賞受賞 盛岡広域環境組合設置 矢幅駅東口に地域情報発信ステーション オープン 矢巾北中学校特設合唱部、第16回声楽アンサンブルコンテスト全国大会出場中学校部門金賞受賞 矢巾中学校男子ハンドボール部全国中学校選手権準優勝 認知症とともに生きる町づくり条例を制定 南部盛岡チャグチャグ馬コパレードが町内で初めて実施(徳丹城春まつりと併せて) ワールドラン(Wing for Life World Run)矢巾会場初開催 宮沢賢治をモチーフとした南昌山の新展望台を山開きでお披露目 コロナ禍で中止が続いていた町夏まつりが4年ぶり通常開催 東北最大の物流拠点「プロロジスパーク盛岡」が広宮沢に完成 町住民総合ポータルアプリ「やはナビ！」の運用開始 町ホームページをリニューアル 平成23年度より架替工事が進められていた徳田橋が開通 第8次矢巾町総合計画スタート 岩手日野自動車株式会社 本社・盛岡営業所・盛岡工場が完成 演歌歌手 大江裕氏が矢巾町応援アンバサダーに就任 レゲエアーティスト ゼンダマン氏が矢巾町応援アンバサダーに就任 スミつけ祭りが町営キャンプ場に場所を移して初めての開催 「矢巾町史現代編」刊行 岩手県立南昌みらい高等学校が開校 矢巾町合併70周年記念式典開催 故藤原清司氏へ名誉町民の称号を授与 矢巾町合併70周年記念行事「クラウンミュージックフェスティバル」開催 矢巾町活動交流センター「やはばーく」開館10周年 岩手医科大学附属内丸メディカルセンターが岩手医科大学附属病院へ大半の診療機能を移転・統合
--	--	---

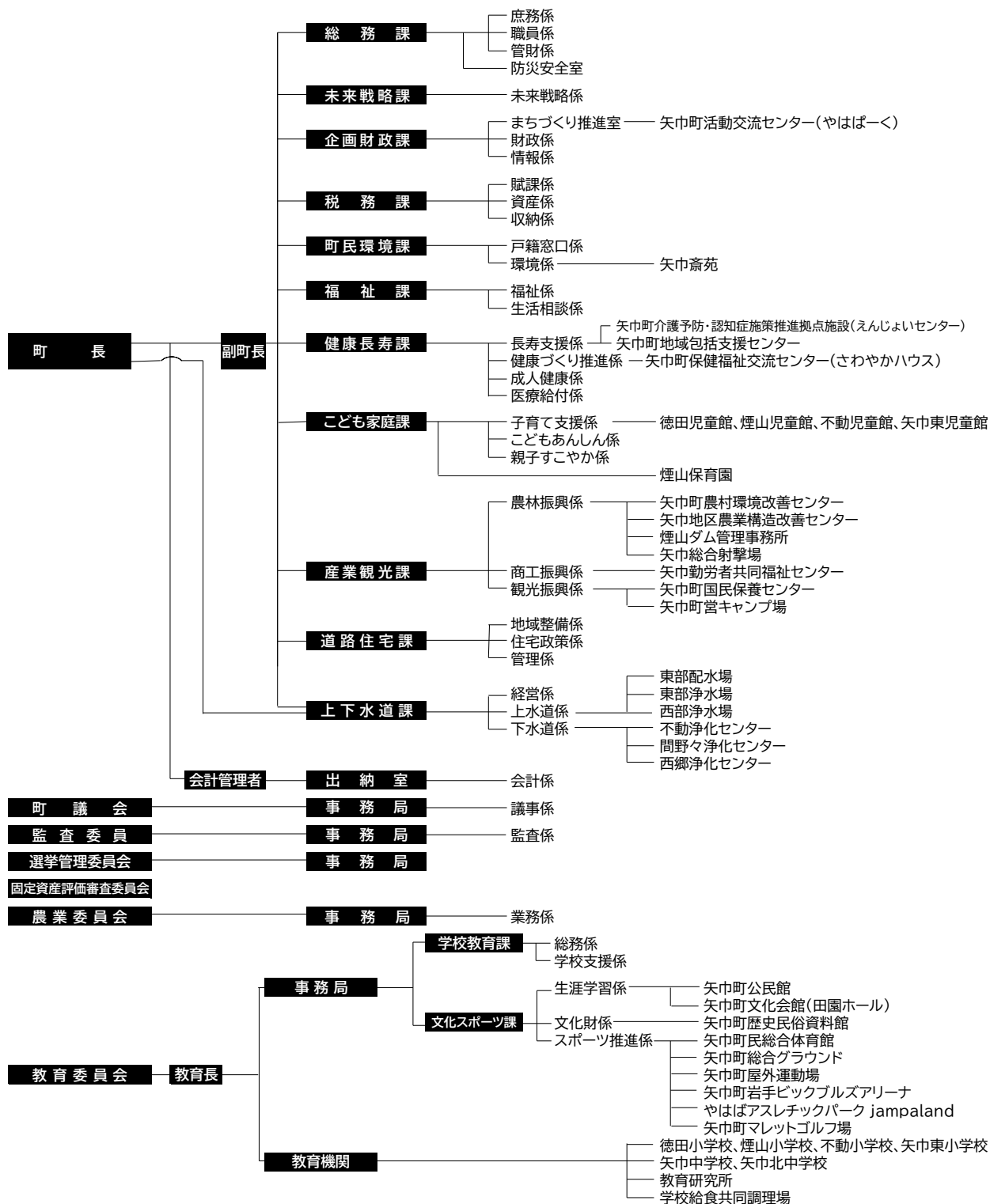
町長
高橋 昌造



教育長
岡田 秀二



※令和8年4月～
副町長 不在

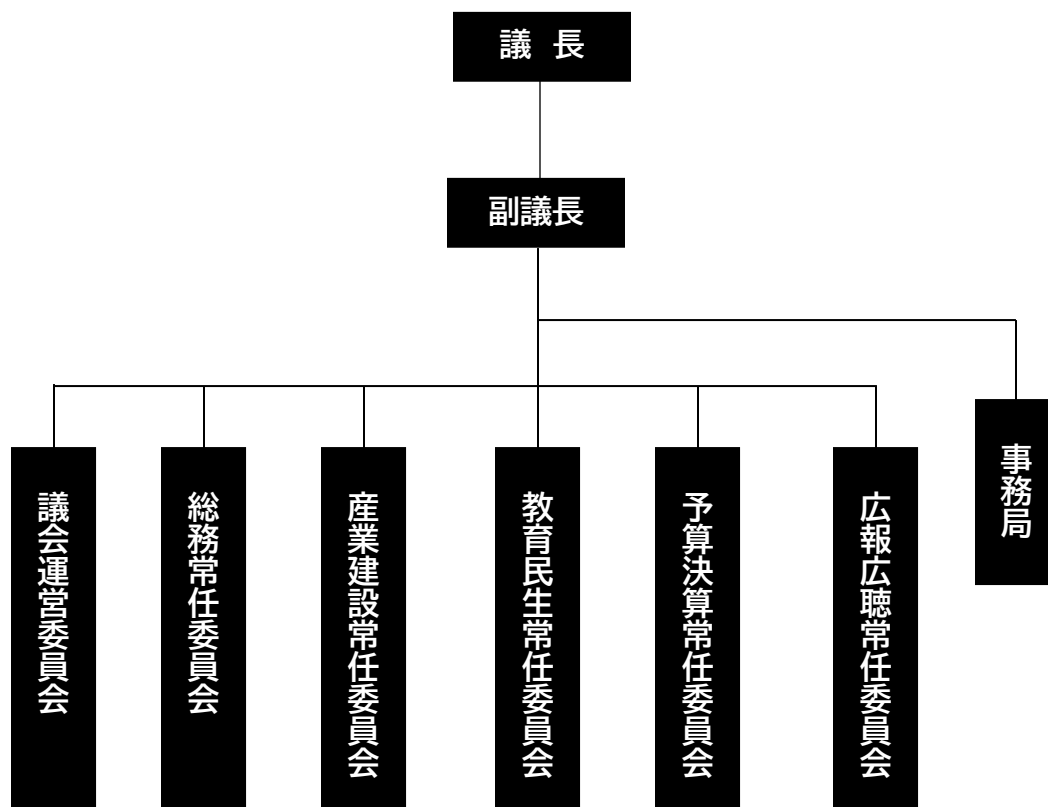


議会

議長 廣田 清実



副議長 谷上 知子



町民憲章(昭和51年10月25日制定)

- わたくしたちの町
- 岩手の山なみをながめ南昌のふもと
- 北上の流れに憩う
- 美しい町
- わたくしたちは今
- この町の光と風と
- 父祖の足跡を受けつぎつ
- 和といたわりと希望の町をめざし
- この憲章を掲げます
- この憲章のもと
- 老いも若きも 手をたずさえ
- 日を月を年を重ねて
- たくましく 生きぬくことを
- 誓います
- みどり豊かな自然を愛し
- 清らかな町づくりに努めます
- すすんで教養を身につけ
- 郷土の芸術文化をたかめます
- 体力をつよめ話し合いを大切にする
- 明るい家庭をつくります
- 公共心を育て
- 思いやりときまりのある生活をします
- 働くことに喜びをもち
- 希望にみちた町の開発にはげみます

町章(昭和32年9月15日制定)



昭和32年9月に制定されたもので、当時三ヶ村合併の意味をもたせ「矢」と「巾」とを同時に意味して「矢巾」とし、安定と遠心的な広がりを図案化したもので、本町の平和と躍進を象徴している。

町のシンボル(昭和51年10月25日制定)



花『ゆり』

南昌の里に、ひっそりと咲き、美しく、また可憐な花を開き柔和で、純潔な町民の心を表している。



鳥『かつこう』

さわやかな鳴き声を矢巾の山々にこだまさせ、明るい未来を知らせ、町民に明日への希望をもたせてくれる。



木『まつ』

年中緑を絶やさず、葉は強剛で奥羽山脈から吹きおろす風雪にも耐え四方に伸びる根と枝は、矢巾の躍進を示すがごとく雄大である。

矢巾町町民歌(昭和32年9月15日制定)

矢巾町町民歌

川村陽吉 作詞
藤沢康太郎 補作
鷹嘴洋一 作曲

一、見はるかす 沃野ひらけて

南昌の 山に雲湧く

美まし里 息吹きさやかに

あたらしき 理想は高く

力あわせて われら辿らん

二、岩手富士 はるかに仰ぎ

うたごえの 相和すところ

人睦み ともに励みて

うちたつる 徳と業とを

望みあかるく われら進まん

三、鹿妻堰 滔るる水に

ゆたかなる 恵みをうけて

黄金なす 穂波のそよぎ

なりわいの このよろこびを

誠つくして われら拓かん

町と人をつなぐ情報発信



ホームページ



やはラヂ！



X



広報やはば



YouTube



Instagram



LINE



android



iOS

やはナビ！

矢巾町 町勢要覧

Yahaba Town Profile Book

◆発行 岩手県矢巾町

◆制作 企画財政課

平成28年7月発行（令和8年8月改訂）

〒028-3692

岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅第13地割123番地

TEL 019-697-2111(代表)

FAX 019-697-3700